

令和2年(2020年)12月4日(金曜日)

源兵衛川保全で優秀賞

国のメンテナンス大賞審査

三島市のNPO法人グラウンドワーク(GW)三島が、社会資本の維持管理で優れた取

GW三島

富士山からの湧水が市街地を流れる源兵衛川は、かつて地下水のくみ上げなどによって汚染が進み、GW三島は90年代から農業者と住民の間を仲介しながら清掃作業などの活動を進めてきた。上流の企業にくみ上げた地下水を川に戻してもらうなどの呼び掛けも行い、現在は年間を通して豊富な清流が水都・三島の象徴ともされる。源兵衛川は2016年に世界かんがい施設遺産、18年に世界水遺産に認定された。

今回の同大賞には全国から288件の応募があり、35の企業、自治体、団体が受賞した。GW三島の渡辺豊博専務理事は「地域の取り組みが評価され、みんなで受賞したと思っている。今後も活動を続けていきたい」と話した。

(三島支局・金野真仁)

清掃活動続け28年 水都の象徴に



GW三島が源兵衛川で続けている保全活動＝三島市

り組みや技術を表彰する国の「インフラメンテナンス大賞」で優秀賞に選ばれた。市内を流れる源兵衛川を28年にわたって管理し、住民や農業者とともに河川環境を保全する活動が評価された。